

中日ニュース

シネスコ版

道新 16146
 高新 16231
 新愛媛 1617
 中工新 1672

日高小島市 - 134頁 - (本編トリア追加)
 本編同V.

No. 396 36.8.18
 徳島高松防波橋リ - 81頁 (本編トリア追加)

一、ミコヤン副首相来日

—東京

八月十四日、ソビエトのミコヤン第一副首相が来日。ものものしい警備に固められた沿道をついて外務省へ。

セールスマン副首相といわれるだけに、むづかしい外交問題もウィットで交す如才な。その足で佐藤通産相を訪れ、日ソ貿易について話合いました。

翌十五日は、晴海のソビエト商工業見本市の開幕式に出席。また十六日には、官邸に池田首相を訪問、フルシチョフ首相からの手紙を渡し、安保条約は止めなさいと持かけるなど大物らしい多彩な動きを見せています。

日本の断層 第二集

一、岐路に立つ平和運動

原水爆禁止を願う平和大行進は今年も始まりました。八月六日、被爆地広島では第十六回目の記念式典がおこなわれました。市内の原爆病院では、最近、白血病やケロイドに代って、老人の人達に内臓疾患の患者が多くなり、目にもえぬ恐怖がひろがっています。

去る二十九年、ピキニのアメは核実験で附近を航海中の第五福竜丸が被害。それが契機となつて、日本にも原水爆禁止運動が芽生え、三十年八月には、第一回世界大会にまで発展しました。

しかし、国際情勢や国内の反政府運動とのからみ合いで、日本原水協は次第に圧迫と迫害を加えられるようになりました。基地問題・安保問題を背景に押し出した「反米主義」をいわゆる原水協の「政治的偏向」として批難されたのです。

第七回世界大会をむかえた今年、民社党全労会議を中心とする一派は原水協から離脱し、平和建設国民大会をつくり、アトラクション入りの大会をひらきました。

原水協はいつたん非政治性を決定したものの、一部代表の「政治的キメツケ主義」は大衆の性格をより政治的にしていきましました。社会党・総評はこれらの傾向に対し、体質改善要求の声明を発表。原水爆運動は二つの断層をみせながら多くの困難を前途にかかえているのです。

6220R

1220R

1220R